

平成30年10月1日現在の保育所等利用待機児童数について

平成30年10月1日現在の保育所等利用申請・待機状況を取りまとめましたので、公表します。

(単位：人)

区 分	平成30年10月	平成29年10月	平成28年10月
就学前児童数	81,144	81,633	82,062
前年との比較	▲489	▲429	81
利用申請者数(A)	33,524	31,527	29,293
前年との比較	1,997	2,234	2,397
利用児童数(B)	29,018	27,193	25,241
前年との比較	1,825	1,952	2,029
保留児童数(A)－(B)＝(C)	4,506	4,334	4,052
前年との比較	172	282	368
市の保育施策で対応している児童数等(D)	1,558	1,724	1,684
川崎認定保育園等対応児童数	1,176	1,221	1,337
おなかま保育室対応児童数	126	126	130
一時保育対応児童数	155	237	211
幼稚園預かり保育対応児童数	30	16	0
事業所内保育対応児童数 ※2	26	56	6
年度限定型保育対応児童数 ※3	75	68	－
企業主導型保育対応児童数(E)※4	158	11	－
育休関係の申請者数(F)※5	1,255	905	1,390
特定の保育所等を希望する申請者数(G)※6	1,095	1,116	680
求職活動を休止している申請者数(H)※7	158	204	198
待機児童数(C)－(D)－(E)－(F)－(G)－(H)	252	374	100
前年との比較	▲122	274	11

※1 厚生労働省の「保育所等利用待機児童数調査要領」に基づき集計

※2 「事業所内保育」：地域型保育(事業所内保育)を従業員枠で利用する方、又は県・市費により運営費支援等を受けている院内保育施設を利用する方

※3 「年度限定型保育」：保育所等への利用が保留となり、1・2歳児を期間限定で預かる年度限定型保育事業を利用する方

※4 「企業主導型保育」：企業主導型保育事業を従業員枠又は地域枠で利用する方

※5 「育休関係」：4月1日時点育児休業を取得されていて、復職の意向が確認できない方

※6 「特定の保育所等」：利用可能な保育所等があるにも関わらず利用を辞退した方、自宅から通常の交通手段でおおむね20～30分以内に利用可能な保育所等又は市の保育施策の対象施設があるにも関わらず利用を希望されない方など

※7 「求職活動を休止」：主に在宅で職を探するなど、保育の必要性が認められない方